

令和3年度

事業報告書

公益財団法人福岡県動物愛護センター

# 目 次

## 第1 法人運営

1 評議員会の開催 .....	1
2 理事会の開催 .....	1
3 評議員及び役員に関する事項 .....	2
4 職員構成 .....	3

## 第2 事業の実施

1 動物愛護と適正飼養に係る普及啓発及び人材育成事業 .....	4
2 ペット相談事業 .....	10
3 調査研究事業 .....	12
4 動物愛護・管理支援事業.....	22
5 動物愛護週間事業等.....	26

# 第1 法人運営

## 1 評議員会の開催

(公財)福岡県動物愛護センター(以下「センター」という)の運営事項を決定するため、次のとおり評議員会を開催した。

区分	開催年月日	場所	付議事項	結果
第1回	令和3.4.30	(書面決議)	1 評議員1名の選任の件	原案のとおり決議
第2回	令和3.6.25	福岡市(博多サンヒルズホテル)	1 令和2年度事業報告について 2 令和2年度決算及び監査報告について 3 評議員及び役員の改選について	原案のとおり決議

## 2 理事会の開催

センターの運営事項を決定するため、次のとおり理事会を開催した。

区分	開催年月日	場所	付議事項	結果
第1回	令和3.4.20	(書面決議)	1 第1回評議員会の書面による決議の件	原案のとおり決議
第2回	令和3.6.1	福岡市(博多サンヒルズホテル)	1 令和2年度事業報告について 2 令和2年度決算及び監査報告について 3 令和3年度第2回評議員会の開催について	原案のとおり決議
第3回	令和3.6.25	(書面決議)	1 理事長選任の件 2 常務理事選任の件	原案のとおり決議
第4回	令和3.11.5	(書面決議)	1 令和3年度補正収支予算の書面による決議の件	原案のとおり決議
第5回	令和4.2.22	福岡市(博多サンヒルズホテル)	1 令和3年度補正収支予算について 2 令和4年度事業計画について 3 令和4年度収支予算並びに資金調達及び設備投資の見込みについて	原案のとおり決議

### 3 評議員及び役員に関する事項（令和4年3月31日現在）

#### (1) 評議員

役職名	氏名	就任年月日	摘要
評議員	白石 博昭	令 3.4.30	福岡県保健医療介護部長
評議員	草場 治雄	平 25.4.1	(公社) 福岡県獣医師会会長
評議員	坂本 慎二	平 30.10.3	(公社) 福岡県生活衛生営業指導センター理事
評議員	櫻内 京子	平 25.4.1	福岡県愛玩動物協会副代表
評議員	林 泰輔	平 30.10.3	(一社) 九州動物福祉協会事務局長

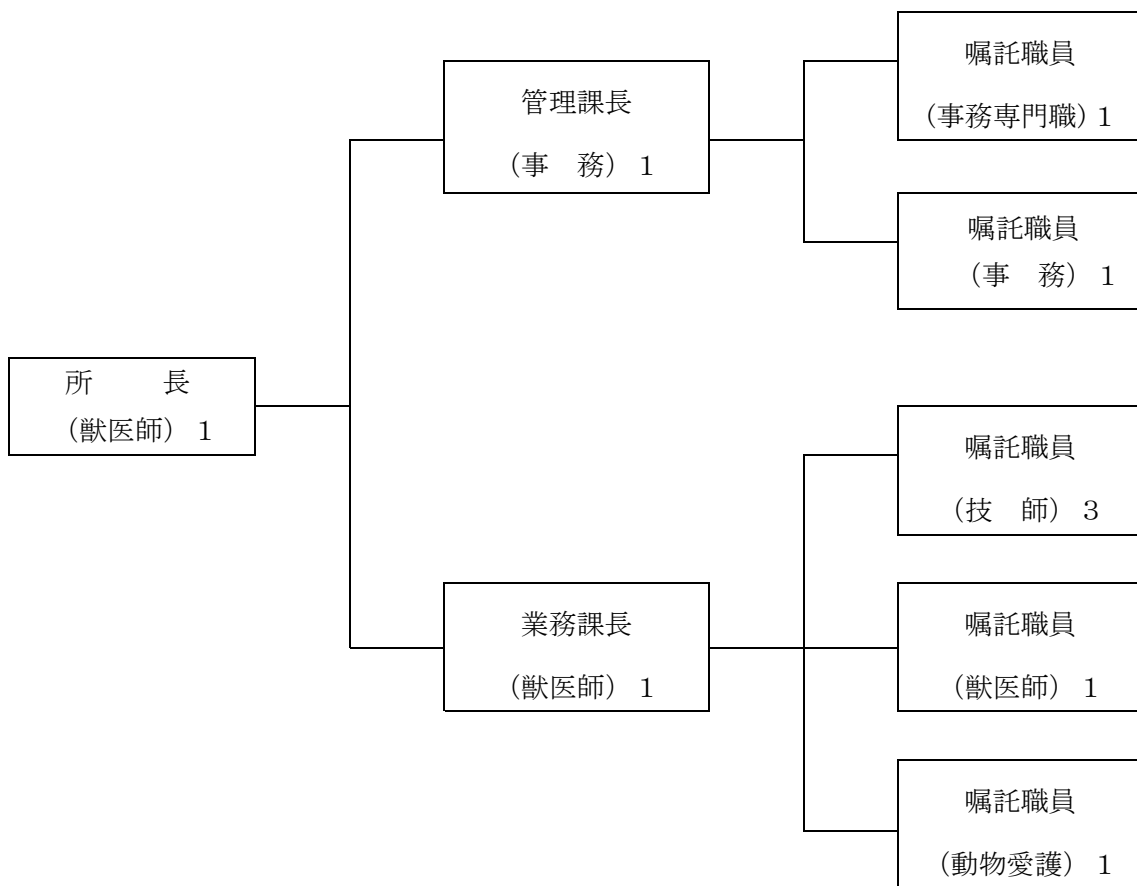
#### (2) 理事

役職名	氏名	就任年月日	摘要
理事長	田村 聡	令 1.5.15	福岡県保健医療介護部食の安全総合調整監兼生活衛生課長
常務理事	真鍋 修一	令 1.5.15	福岡県動物愛護センター所長
理事	小野 教子	平 25.4.1	フリーライター
理事	小山 幸江	平 27.6.16	元当センター業務課長 当センターボランティア
理事	山根 明弘	平 29.6.27	西南学院大学人間科学部教授
理事	横田 昌宏	平 27.5.13	古賀市副市長
理事	和田 敏憲	令 3.6.25	福岡県獣医師会理事 福岡県獣医師会いのちをつなぐ委員会委員長

#### (3) 監事

役職名	氏名	就任年月日	摘要
監事	井上 久信	令 1.6.12	井上久信税理士事務所所長

#### 4 職員構成 (令和4年3月31日現在 10人)



## 第2章 事業の実施

### 1 動物愛護と適正飼養に係る普及啓発及び人材育成事業

#### (1) 県内の動物関係専門学校生等への研修

本年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、学生の来所がなく、研修及び実習を行うことができなかった。

#### (2) 施設見学者への啓発

##### ア 施設見学の受入れ

施設来場者に対して、センターの事業の説明及び動物愛護に関する啓発を行った。

・受入状況

単位：名

講習会 見学者	動物愛護 団体	小中学生	専門学校 高校生	行政関係 愛護推進員	一般 来場者	合計
21 (29)	6 (12)	0 (0)	0 (0)	31 (14)	544 (294)	602 (349)

※（ ）は令和2年度の実績、以下同様

##### イ センターオープンデーの開催

5月16日（日）に開催の予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、開催しないこととした。

##### ウ テレビ、広報等による啓発

フェイスブック、インスタグラムにより、譲渡動物の様子などの情報発信を行った。

### (3) 犬のしつけ方教室

犬の適正飼養や犬とのより良い関係づくりを啓発し、模範的な飼育者及び模範犬の育成を図ることを目的として、犬の習性、行動や心理に関する情報を提供しながらしつけ方の指導を行う「犬のしつけ方教室(一般コース、子犬コース)」を実施した。

また、子犬コースに参加し、全レッスンを終了した飼い主と犬を対象としたフォローアップ講習会「ワンパク同窓会」を開催した。

#### ア 一般コース

##### ○ 開催状況

月日(曜日)	受講者数・組数	(登録) ボランティア	モデル犬
4月18日(日)	16名・6組	5名	4頭
6月20日(日)	4名・3組	5名	3頭
7月18日(日)	16名・7組	6名	5頭
8月15日(日)	中止	-	-
9月19日(日)	中止	-	-
10月17日(日)	11名・5組	10名	5頭
12月19日(日)	17名・9組	11名	3頭
1月16日(日)	9名・4組	4名	3頭
2月20日(日)	1名・1組	-	-
3月20日(日)	0名	-	-
計	74名・35組 (73名・37組)	41名 (46名)	23頭 (42頭)

- ・ 場所 福岡県動物愛護センター(大会議室)
- ・ 時間 13:00~15:30
- ・ 対象 一般県民
- ・ 内容
  - (a) 講義 センターの業務、しつけの必要性、犬の習性と性質、犬の社会化、不妊去勢手術、しつけの基本、良い遊びと良くない遊び、犬のことば、問題行動の背景と対処方、しつけグッズの紹介等
  - (b) モデル犬の実演 犬と飼い主の関係づくり、オスワリ、フセ等

## イ 子犬コース

### ○ 開催状況

月日（曜日）	内容	受講者数	同伴犬	（登録）ボランティア
6月 3日（木）	講義	5名	—	1名
6月10日（木）	実技1	7名	2頭	3名
6月17日（木）	実技2	7名	2頭	5名
9月 2日（木）	講義	7名	—	
9月 8日（水）～10日（金）※	実技1	9名	5頭	1名
9月13日（月）～16日（木）※	実技2	9名	5頭	
11月 4日（木）	講義	6名	—	2名
11月11日（木）	実技1	4名	2頭	6名
11月18日（木）	実技2	2名	1頭	8名
3月 3日（木）	講義	12名	—	1名
3月10日（木）	実技1	15名	6頭	7名
3月17日（木）	実技2	11名	5頭	8名
合計		94名 (56名)	28頭 (18頭)	42名 (43名)

- ・ 場所 福岡県動物愛護センター（大会議室）
- ・ 時間 （講義）13:00～15:30 （実技）13:30～15:30  
 ※9月開催分は（講義）13:00～14:30 （実技）1時間15分  
 （新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、時間短縮し、実技は個別での実施とした。）
- ・ 対象 一般県民
- ・ 内容
  - (a) 講義 センターの業務、犬との暮らしの基本、遺伝と環境、犬の学習方法、犬と飼い主の関係作りプログラム、犬のストレス等
  - (b) 実技 アイコンタクト、オスワリ、マテ、フセ、オイデ、ゲーム等

## ウ ワンパク同窓会

### ○ 開催状況

月日（曜日）	参加者数	同伴犬	（登録）ボランティア
4月28日（水）	中止		
10月27日（水）	44名	27頭	8名
合計	44名 (37名)	27頭 (27頭)	8名 (6名)

- ・ 場所 福岡県動物愛護センター（駐車場及び大会議室）
- ・ 時間 13:30～15:30  
 （新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、時間短縮し、屋外のみでの実施とした。）



- ・ 対象 犬のしつけ方教室子犬コースを修了した飼い主と愛犬
- ・ 内容 飼い主のスキルアップ、モデル的飼い主の組織としての情報発信  
具体的には、近況報告、実技、ゲーム等

#### (4) 猫の適正飼養に関する普及啓発

- ・ 「にゃんにゃんセミナー」

完全室内飼育、不妊去勢手術の実施等、適正な飼養方法を広く普及啓発することを目的に実施した。

##### ○ 開催状況

単位：名

月日 (曜日)	5月26日 (水)	8月25日 (水)	11月21日 (日)	2月16日 (水) ※	合計
受講者数	中止	中止	18名	6名	24名 (18名)

- ・ 場所 福岡県動物愛護センター（大会議室）
- ・ 時間 13:30～15:30
- ・ 対象 一般県民
- ・ 内容 猫をとりまく現状、猫の習性の理解、猫のニーズを満たす、猫のストレスサイン、なぜ完全室内飼育なの？、猫の病気と健康管理、猫の不妊去勢手術の必要性、完全室内飼育のためのポイント、トイレのしつけ、猫の食事、お手入れ等

※2月開催分は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、Web配信で実施した。

#### (5) 動物愛護教室

##### ○ 開催状況

単位：名

月日 (曜日)	時 間	大人	子ども	(登録) ボランティア
7月21日 (水)	10:00～11:30	3	3	—
8月18日 (水)	10:00～11:30	中止		

- ・ 場所 福岡県動物愛護センター（大会議室）
- ・ 対象 幼稚園、小学校等の園児、児童
- ・ 内容 動物の気持ち、動物と楽しく暮らすための約束、動物の役割等

#### (6) 講師派遣

保健福祉事務所、市町村等主催者からの依頼がなかった。

#### (7) 譲受団体研修会

- ・ 開催日時 12月14日 (火) 13:30～15:30
- ・ 場所 福岡県動物愛護センター（大会議室）
- ・ 対象 登録譲受団体
- ・ 参加団体 14団体20名
- ・ 内容 「動物の愛護及び管理に関する法律の改正について」の研修と、令和2年度譲受団体への譲渡状況及びセンターからの譲渡方等についての説明をした。

## (8) ボランティア研修会

### ア 新規ボランティア研修会

#### ○ 開催状況

単位：名

月日（曜日）	受講者数	登録可	登録済
4月7日（水）	3	3	3
6月2日（水）	1	1	1
8月4日（水）	4	4	4
10月6日（水）	7	7	7
12月1日（水）	8	8	8
2月2日（水）	1	1	1
合計	24 (14)	24 (13)	24 (13)

- ・ 場所 福岡県動物愛護センター（大会議室）
- ・ 時間 9：00～11：30
- ・ 対象 センター事業を支援する意思のある方
- ・ 内容 ボランティアに必要な事項等の説明
- ・ 新規ボランティア登録者 24名

#### (参考) ボランティアの活動状況

ボランティア活動の動物愛護事業名	事業回数	参加人数 (延)	反省会及び 意見交換会	
これから犬を飼う人のための講習会	16回	78名	16回	
犬のしつけ方教室	一般コース	7回	41名	6回
	子犬コース	12回	42名	7回
ワンパク同窓会	1回	8名	1回	
にゃんにゃんセミナー	1回	8名	1回	
動物愛護教室	1回	—	—	
ボランティア勉強会・研修会	2回	18名	1回	
日常のお世話（散歩、シャンプー、手入れ等）	18回	36名	10回	
合計	58回	231名	42回	

### イ ボランティア勉強会

本年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、Web配信で開催した。

- ・ 開催日時 1月25日（火）13：30～15：30
- ・ 内容 コミュニケーションスキルとカウンセリングの注意点について
- ・ 参加人数 8名

### ウ ボランティア及び譲受団体合同研修会

本年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、合同研修会は開催しないこととした。

ボランティアの動物愛護に関する知識と資質の向上を図るために、ボランティア研修会を開催した。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、Web配信も実施した。

- ・ 開催日時 3月22日(火) 13:30~15:30
- ・ 場所 福岡県動物愛護センター大会議室 及び Zoom を用いた Web 配信。
- ・ 対象 センター登録ボランティア
- ・ 参加者 10名(会場6名、Web4名)
- ・ 内容 「動物の愛護及び管理に関する法律の改正について」の研修と、令和3年度のボランティア活動に関する事業についての説明した。

## (9) 動物愛護に関する行政機関との連携事業

### ア 動物行政担当者研修会及び情報交換会

動物愛護事業について、福岡県内各保健福祉(環境)事務所の動物行政担当者と連携を図るために、次の事業を行った。

#### (ア) 研修会

- ・ 日時 6月30日(月) 14:00~16:30
- ・ 場所 福岡県動物愛護センター(大会議室)
- ・ 参加者 11名

#### (イ) 情報交換会

本年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、Web方式で開催した。

- ・ 日時 2月16日(水) 9:00~12:00
- ・ 参加者 17名

### イ 愛護動物同行避難訓練

例年、福岡県主催の防災訓練時に、福岡県獣医師会等関係団体と連携して、災害時の同行避難訓練等に参加していたが、本年度は、中止となった。

### ウ 福岡県内動物愛護(管理)センター会議

本年度は書面開催とした。

## 2 ペット相談事業

ペット等に関する相談を電話やセンター窓口において受け付けた。

犬は譲受希望の問い合わせが一番多かったが、猫は保護の相談が多かった。犬も猫も自分では飼えない、もしくは飼えなくなったが、当センターから譲渡して欲しい、もしくは、一時預かって欲しいとの要望が多かった。当センターへの引取りや譲渡を依頼するのではなく保護した猫をどうしたらよいかと助言を求める問い合わせも多かったため、保護した命を助けたいのであれば、自分で譲渡先を探せるように新しい飼い主を探す方法を伝えている。また、入院等による一時預かりを希望している場合は、民間の業者を利用するように助言している。トラブルの相談内容は、犬は虐待に関する相談、猫は被害を受けている相談が多かった。犬、猫ともに失踪に関する問い合わせに対しては、当センターホームページへの掲載を案内するとともに、管轄保健所の案内、鑑札や迷子札等の装着の必要性についてアドバイスしている。

### (1) 相談件数

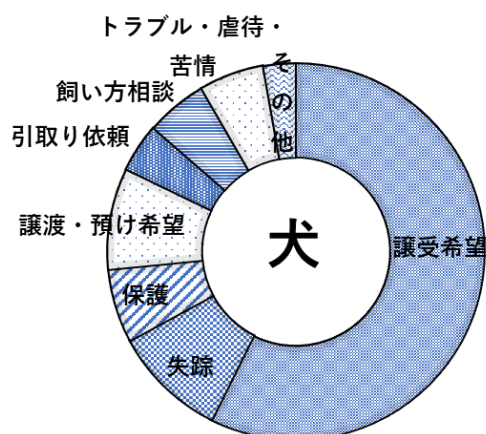
811件（犬286件、猫396件、その他129）

### (2) 相談内容

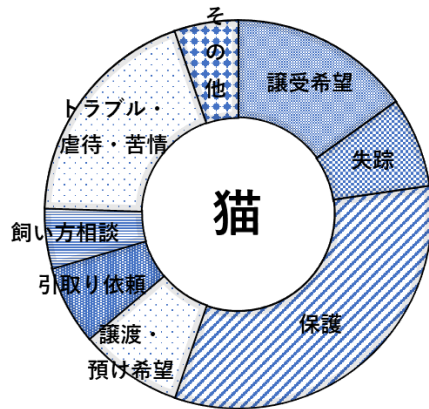
単位：件

相談内容	犬の件数	猫の件数
譲受希望	164	60
失踪	28	30
保護	18	129
譲渡・預け希望	25	34
引取り依頼	12	26
飼い方相談	15	20
トラブル・虐待・ 苦情	16	76
その他	8	21

### ア 犬の相談内容



## イ 猫の相談内容



## ウ 犬及び猫以外の主な相談内容

- ・ 野生動物に関する相談
- ・ 犬猫以外の愛玩動物の保護・譲渡・虐待に関する相談
- ・ HP への掲載に関する問い合わせ
- ・ 動物取扱業に関する問い合わせ等

### 3 調査研究事業

#### (1) 譲渡犬の飼養実態調査

##### ○ 調査の概要

譲渡事業において、飼養希望者に譲渡した犬の飼養状況を把握し、今後の本事業の参考とするために、譲渡1年後に次のとおり追跡調査を実施した。

- ・ 対象及び件数 令和2年度譲渡犬の飼養者18名（♂10頭、♀8頭）
- ・ 期 間 令和3年4月～令和4年3月
- ・ 方 法 封書によるアンケート各戸調査
- ・ 内 容 「飼養状況アンケート」
- ・ アンケート回収数（率） 17件（94.4%、♂9 ♀8）

##### ○ 調査結果

- ・ 現在の状態 [N=17]
  - 健康・・・・・・・・ 16件（94.1%）
  - 譲渡した・・・・・・・・ 1件（5.9%）

[以降N=16 ♂8 ♀8]

- ・ 飼育の目的〔複数回答〕
  - 家族の一員・・・・・・・・ 15件（93.8%）
  - 愛玩用・・・・・・・・ 1件（6.2%）
- ・ 飼育場所〔複数回答〕
  - 家の中・・・・・・・・ 13件（81.3%）
  - 囲いの中・・・・・・・・ 4件（25.0%）
  - 庭で放し飼い・・・・・・・・ 2件（12.5%）
  - クサリで繋留・・・・・・・・ 1件（6.2%）

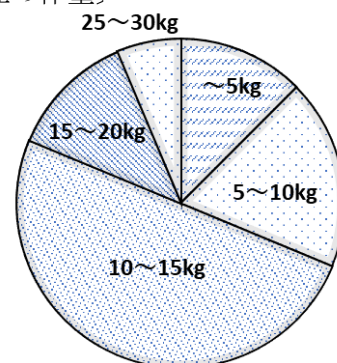
- ・ 狂犬病予防法に基づく登録・注射
  - 受けている・・・・・・・・ 16件（100%）

- ・ 所有者明示について
  - 付けている・・・・・・・・ 16件（100%）

[明示内容]〔複数回答〕

- ・ 鑑札（10件） ・ 狂犬病予防注射済票（11件）
- ・ マイクロチップ（16件） ・ 迷子札（8件）

〔現在の体重〕



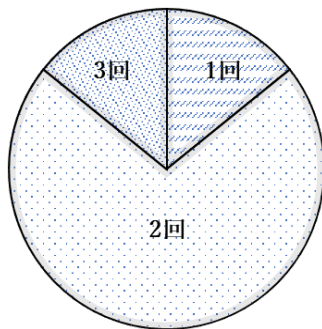
譲渡の条件である、登録と狂犬病予防注射の接種は100%実施していた。手術時にマイクロチップを装着しているため、所有者明示は100%であるが、法律で定められている鑑札や済票の装着について、事前講習会で別枠を設けて説明しているにもかかわらず、装着率が100%とならなかった。迷子札の装着率

も低いため、よりいっそうの啓発が必要であり、譲渡時に装着する首輪に迷子札兼用の鑑札ケースを取り付けて譲渡することとした。

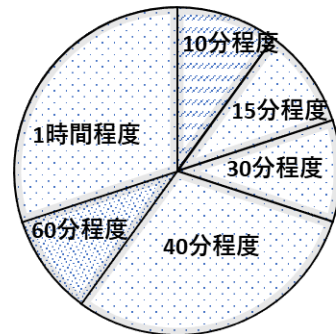
- 主に犬の世話をする人 [複数回答]
  - 家族全員・・・ 7件 (43.8%)
  - 妻・・・・・・・・ 8件 (50.0%)
  - 夫・・・・・・・・ 3件 (18.8%)
  - 子供・・・・・・・・ 0件 (0.0%)

- 犬の運動 [複数回答]
  - 特にさせていない・・・ 0% (0.0%)
  - 庭で追放し・・・・・・・・ 6件 (37.5%)
  - 引き綱で運動・・・・・・・・ 14件 (87.5%)
  - ドッグラン・・・・・・・・ 1件 (6.2%)
  - その他(ボール遊び他)・・・ 1件 (6.2%)

[運動の回数/一日]



[運動の時間/一回]



- 食事の内容 [複数回答]
  - ドッグフード・・・・・・・・ 16件 (100%)
  - その他(肉・野菜など)・・・・ 5件 (31.3%)

すべての犬が毎日運動をさせてもらい、食事はドッグフードを基本に与えられており、運動や食事においては、適正な飼育がなされていると考えられた。時には犬に与えても良い食材である肉、野菜やそれを使用した手作り食を与えられている犬もあり、家族の一員として可愛がられている様子が見受けられた。

- 不妊・去勢手術について
  - センターにて手術済み・・・ 15件 (93.8%)
    - [性別による内訳] ♂8件 ♀7件
  - 動物病院で手術済み・・・・ 1件 (6.2%)
    - [性別による内訳] ♀1件

譲渡の条件としている不妊去勢手術については、全頭実施してもらっていた。

・ 動物病院の受診経験

ある・・・・・・・・・・・・ 16件（100%）

〔主な内容〕〔複数回答〕

- ・治療（外傷・皮膚疾患・下痢・嘔吐・外耳炎）
- ・狂犬病予防注射 ・混合ワクチン接種 ・フィラリア予防 ・ノミダニ予防
- ・健康診断や相談

動物病院は、治療、予防に加えて健康診断で受診していた。  
予防獣医療及び体調不良時の早期受診の大切さについて、譲渡時の誓約書に記載した上で、しっかりと説明するようにした成果だと思われた。

・ 飼育していて困ったこと、現在困っていること

ある・・・・・・・・ 8件（50.0%）

〔主な内容〕

- ・抜け毛 ・吠え ・痒み ・噛みつく ・トイレのしつけ
- ・散歩の引っ張り ・家族に懐かない ・臆病 ・異食する

ない・・・・・・・・ 8件（50.0%）

犬を飼育していて困ったことの原因は、みな違っており、しつけに関する助言指導は個別に必要であることがわかった。今回は、このアンケートにより困っていることがわかった時点で、こちらから電話して個別に対応方法を伝えたが、今後は困った時はすぐに電話で相談するように譲渡時に伝えることとした。

・ 今回犬を飼っての感想は〔複数回答〕

よかった・・・・・・・・ 16件（100%）

〔主な理由〕

- ・癒される ・楽しい ・可愛い ・運動して健康的になった
- ・同居犬と仲良くしてくれる ・家族のコミュニケーションが増えた
- ・犬つながりで交流が増えた ・保護活動を知るきっかけとなった
- ・人生が豊かになった ・お世話することに喜びを感じる
- ・子供の責任感の育成 ・寄り添ってくれる ・幸せ

悪かった・・・・・・・・ 2件（12.5%）

〔主な理由〕

- ・行動制限（不在にする時間等の調整）がある事。
- ・引っ張り、抜け毛、乗車時に前に来る。

犬を飼っての感想として、全員が良かったと回答し、譲渡犬が家族の一員としての役目を担っている様子が見えた。

犬を飼っての感想の悪かった理由として記載されていたことは、事前講習会や面談ですでに説明した内容であり、また、一部は家庭内の工夫で解決したとの事であった。

事前講習会や面談時において、今後も、今回指摘されたような犬を飼育するにあたっての基本的な留意事項について、さらに丁寧に説明をすることとした。



- ・ お宅の犬はしつけが良い方だと思いますか。
  - 思 う・・・・・・・・ 8件（50.0%）
  - 思わない・・・・・・・・ 3件（18.8%）
  - わからない・・・・ 5件（31.3%）
- ・ センターで行っている「しつけ方教室」について
  - 参加した・・・・・・・・ 10件（62.5%）
  - 参加したい・・・・・・・・ 4件（25.0%）
  - 参加できない・・・・・・・・ 1件（6.2%）
  - 教室の事を知らなかった・・・・ 1件（6.2%）

センターで行っている「犬のしつけ方教室」への参加意欲は高い。  
 「自分の犬のしつけが良い方だとは思わない」と回答した方や「しつけについて困っている」と回答した方については、今後も受講を促したい。  
 譲渡時にセンター事業の説明をして、当センターから譲渡した犬の飼い主さんが「教室の事を知らなかった」ことが無いようにしたい。

- ・ 処分される犬や猫を減らすために犬や猫の飼養者ができること

〔主な内容〕

- ・ 飼い主が最後まで責任をもって飼育する（逃がない）
  - そのために、飼い主自身も健康管理を行う
- ・ 安易に飼わない（飼う前に考える、犬についての知識を得る）
- ・ 動物愛護センターを紹介する（譲渡犬の由来の話、SNSでのシェア）
- ・ 迷子札、鑑札、マイクロチップの装着
- ・ 生体販売を禁止する
- ・ 国や法制度で対策をとる
- ・ 不妊・去勢手術を実施する

処分される犬や猫を減らすために犬や猫の飼養者ができることとして、「責任を持って最後まで飼う」ことを譲受者に再確認していただけたと思われる。また、「飼う前に考える」「センターの紹介をする」については、今後も譲渡の際に、センターからお願いしたいこととして伝えていくこととした。

- ・ センターへの意見・要望

〔主な内容〕

- ・ センターとボランティアに対する感謝、お礼や激励
- ・ 近況報告
- ・ 講習会内容に対する意見
- ・ 土日にドッグランを利用したい

センターへの意見・要望については、譲渡した犬に出会えた感謝やお礼に関する事が多く、センターの譲渡事業及びボランティア活動に対して高評価を得ていた。飼養環境調査に関する面談の実施をボランティアが行うことに対する意見が

あったため、今まで行っていたボランティア面談の際の守秘義務遵守の説明とともに、センター職員を希望する場合は申し出ていただくよう案内することとした。

## ○ 総括

本アンケート調査により、センターからの犬を譲受された方が、センターの譲渡事業の目的である地域における模範的飼養者として犬を適正に飼養していることが確認できた。また、事前講習会での説明のポイントや普及啓発のためのヒントを知ることができた。今後も、このアンケート調査を継続して実施していくこととする。

## (2) 譲渡猫の飼養実態調査

### ○ 調査の概要

譲渡事業において、飼養希望者に譲渡した猫の飼養状況を把握し、今後の本事業の参考とするために、譲渡6カ月後に次のとおり追跡調査を実施した。

- ・ 対象及び件数 令和2年度譲渡猫の飼養者34名、46頭  
(♂28頭、♀18頭)  
注：1家族に複数で譲渡していることもあるので、頭数の方が多くなる
- ・ 期 間 令和2年4月～令和3年3月
- ・ 方 法 封書によるアンケート各戸調査
- ・ 内 容 「飼養状況アンケート」
- ・ アンケート回収数(率) 46頭分(100.0%、♂28 ♀18)

### ○ 調査結果〔以降N=46 ♂28 ♀18〕

- ・ 現在飼育しているか  
はい・・・ 46件(100%)
- ・ 飼養方法について  
完全室内飼育・・・ 46件(100%)

譲渡猫は、譲渡の条件どおり全頭完全室内飼育されており、周辺住民に迷惑をかけない飼い方をしていた。

- ・ ケージの活用について  
活用している・・・ 40件(87.0%)  
〔活用方法〕〔複数回答〕
  - ・ 留守中(22件) ・ 就寝中(18件) ・ 食事中(17件)その他(5件)の内訳〔複数回答〕
  - ・ 出入り自由(3件) ・ トイレをさせる場所として(2件) ・ その他(2件)活用していない・・・ 6件(13.0%)  
〔主な理由〕〔複数回答〕
  - ・ カギ付きの猫部屋(2件) ・ 脱走防止対策(2件) ・ その他(3件)

譲渡時の条件として用意していただいたケージを活用されていない方がいた。購入前の面談の際に、ケージに慣れてもらうことの必要性とあわせて慣れさせるための手法を伝えることとした。

・ 所有者明示について

付けている・・・ 46件（100%）

〔明示内容〕〔複数回答〕

・マイクロチップ（46件） ・迷子札（11件） ・その他（7件）

その他の内訳

・首輪を付けている（4件） ・首輪に記入（3件）

手術時にマイクロチップを装着しているため、所有者明示は100%となるが、迷子札の装着率が低いため、啓発が必要であり、譲渡時に首輪を装着し、迷子札を付けたり、電話番号を直接記入してもらうこととした。

・ 主に猫の世話をする人は 〔複数回答〕

妻・・・ 35件（76.1%）

子供・・・ 17件（37.0%）

夫・・・ 14件（30.4%）

その他・・・ 9件（19.6%）

・ 不妊・去勢手術について

センターにて手術済み・・・ 46件（100%）

〔性別による内訳 ♂28件 ♀18件〕

今回対象の猫に関しては、すべて不妊・去勢手術を施してから飼い主の募集をしたため、実施率が100%となっている。

・ 動物病院の受診について

受診した・・・ 39件（84.8%）

〔主な内容〕〔複数回答〕

・健康診断（7件） ・血液検査（4件） ・ワクチン接種（21件）

・内外部寄生虫駆除・予防（9件）

・治療（外傷・真菌等皮膚病・猫風邪・誤食・食欲不振）（29件）

受診していない・・・ 7件（15.2%）

〔主な内容〕〔複数回答〕

・健康上問題なかったため（4件） ・忙しくて行けていない（1件）

・無回答（2件）

譲渡後半年間一度も動物病院を受診していない方がいた。譲渡の際に、健康診断や外部寄生虫駆除薬等の必要性について説明し、動物病院の受診を促すこととしたい。

・ 現在飼育している動物について

譲り受けた猫のみ・・・ 31件（67.4%）

その他の動物がいる・・・ 15件（32.6%）

〔同居動物の種類〕〔複数回答〕

・犬（6件） ・猫（4件） ・その他（5件）

〔猫との関係について〕

・良好（8件） ・距離を置いている（5件） ・その他（3件）

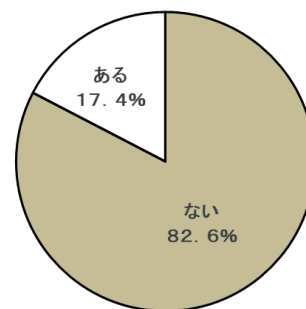
- ・ 飼育していて困ったこと、現在困っていること

ない・・・ 38件（82.6%）

ある・・・ 8件（17.4%）

〔主な内容〕

- ・ 嘔む ・ 異食 ・ 吐く
- ・ 眼鏡にとびかかる ・ 引き戸を開ける
- ・ 術後ヘルニアが心配



飼育していて困ったこと、現在困っていることについて「ある」と回答された方の理由は、飼い主の対応によって改善できるものであった。このことから、猫についても飼育方法の継続的なサポートが必要であることが分かった。今回は、このアンケートにより困っていることがわかった時点で、個別に対応方法等を伝えた。

- ・ 今回猫を譲り受けて 〔複数回答〕

よかった・・・ 46件（100%）

〔主な理由〕

- ・ 癒してくれる（14件） ・ かわいい（10件）
- ・ 家族との時間や仲が深まった（7件）
- ・ 手術やトイレ等のしつけが済んでいた（5件）

悪かった・・・ 0件（0.0%）

飼い始めた感想については、すべての方が「良かった」と回答しており、その主な理由として「癒される」、「かわいい」、「家族が増えた」等を挙げていた。

- ・ 処分される犬や猫を減らすために犬や猫の飼養者ができること

〔主な内容〕

- ・ 責任を持って最後まで飼う（12件）
- ・ 不妊去勢手術をすること（6件）
- ・ 犬猫を迎える方法としてセンターや団体があることを周知すること（7件）
- ・ 室内飼育をすること（3件）

処分される犬や猫を減らすために犬や猫の飼養者ができることとして、「責任を持って最後まで飼う」、「室内飼育をする」など譲受者に再確認していただけたと思う。また、「犬猫を迎える方法としてセンターや団体があることを周知する」については、今後譲渡の際に、センターからお願いしたいこととして伝え

ていくこととした。

- ・ センターへの意見・要望

〔主な内容〕

- ・ お礼や激励（17件）
- ・ 近況報告（9件）

センターへの意見・要望については、譲渡した猫に出会えた感謝やお礼に関する事が多く、センターの譲渡事業に対して高評価を得ていた。

## ○ 総括

本アンケート調査は、対象者は少ないものの回収率は高く、譲渡事業の評価に有効な手段と思われる。今回はアンケート送付後、返信のない飼い主に対して連絡を取り、返信をお願いし、希望者にはアンケートを再送して対応をした結果、初めて返信率が100%になった。

本アンケート調査により、当センターからの猫の譲受者は、センターの譲渡事業の目的である地域における模範的飼養者として猫を適正に飼養していることが確認できた。また、今後譲渡の際に詳細に説明が必要なことがらを知ることができた。今後もこのアンケート調査を継続して実施していくこととする。

## (3) 猫の適正飼養に関する調査

動物愛護週間事業の一環として行われた「2021動物愛護フェスティバルふくおか」の開催形式が、新型コロナウイルス感染症対策の為に掲示のみとなったため、今年度は「猫に関するアンケート調査」は実施できなかった。

過去7年間に6回行ったアンケート調査から、意識の経年変化を考察した。

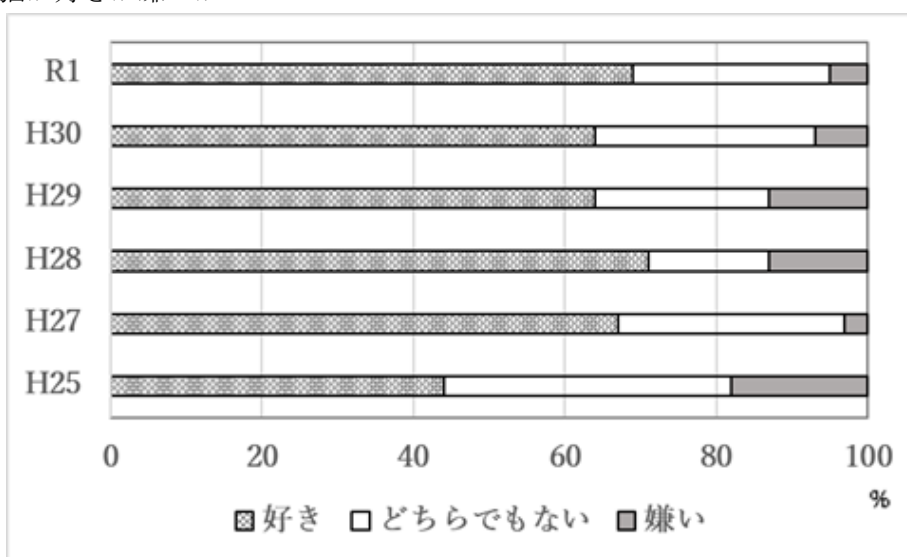
### ○ 調査の概要

動物愛護週間事業の一環として行われている「動物愛護フェスティバルふくおか」において実施した「猫に関するアンケート調査」のうち、猫を飼育していない人からの回答を比較した。

- ・ 対象及び件数 平成25年、27年から令和元年に行われた当該フェスティバル時に、センター設置の動物愛護事業啓発ブースに来場された猫を飼育していない人。
- ・ 回答件数 平成25年 90件  
平成27年 66件  
平成28年 69件  
平成29年 79件  
平成30年 92件  
令和元年 77件
- ・ 調査場所 だざいふ遊園地（太宰府市）
- ・ 調査方法 アンケート調査用紙を配付し記入を依頼
- ・ 調査内容 「猫の適正飼養に関するアンケート」

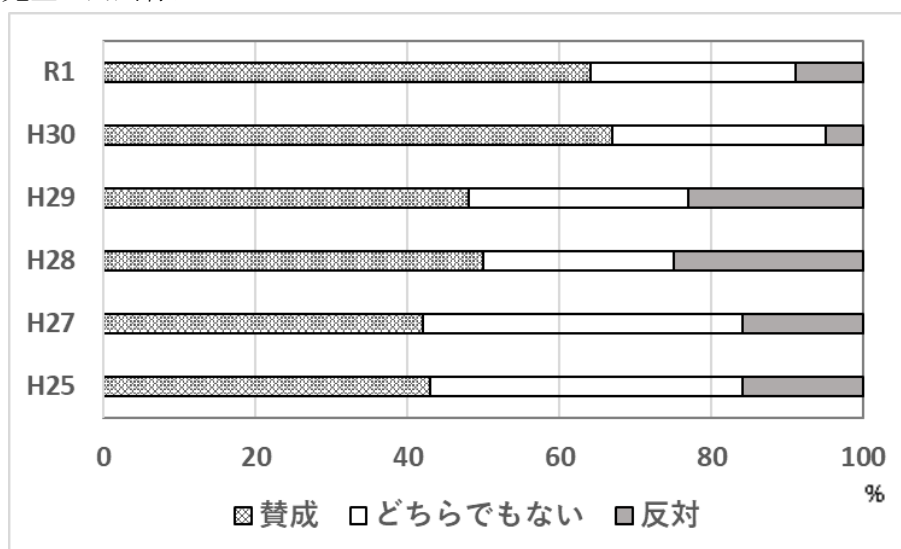
○ 調査回答の比較結果

- ・ 猫が好きか嫌いか



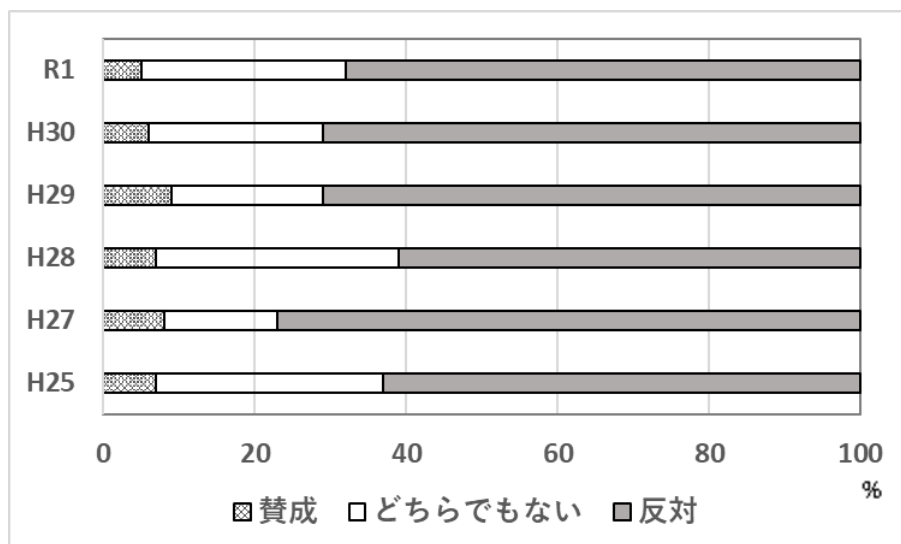
猫を飼育していなくても近年では6割以上の方が「猫が好き」と回答している。一方「猫が嫌い」と回答した人も2割は切るものの一定数存在していることがわかった。

- ・ 完全室内飼育について



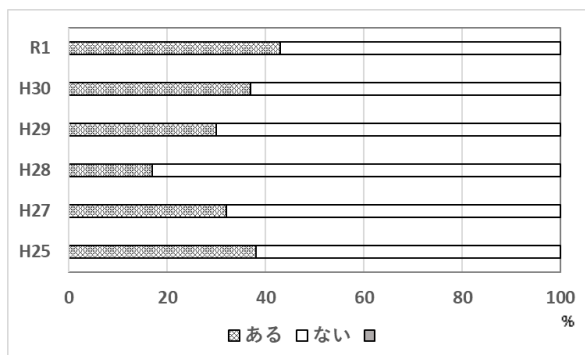
調査開始時からは賛成の人が2割以上増え、また、反対の人が減ってきていることから、猫の完全室内飼育については、少しずつ定着してきているようである。

・ 野良猫にエサだけを与えることについて

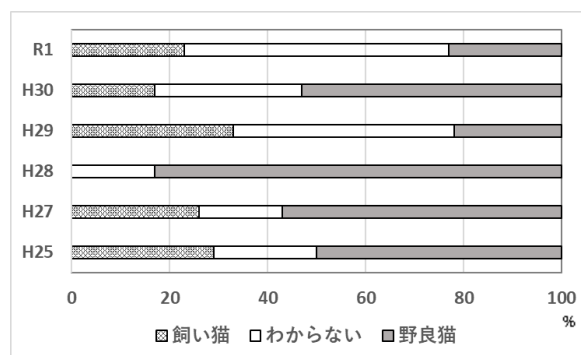


反対の人は常に6割以上おり、一般的には野良猫にエサだけを与えることは受け入れられていない。しかしながら、一割にも満たないが、賛成の人が常におり、アンケートの回答の理由記述から既にエサやりを行っていることや、エサやりをおこなう予備軍であることがわかる。

・ 困っていること



・ 困っている原因の猫



猫に困っている人の数は増減するものの一定数おり、その内容は、敷地内への排便、侵入、鳴き声であり、調査開始時から目立った変化はなかった。また、原因となっている猫についても、明らかな飼い猫なのか野良猫なのかわからない場合も多く、経年変化としてあらわれてくる結果は得られなかった。

○ 総括

完全室内飼育に対する意識の定着が進んできていることが見て取れたが、外にいる猫による困っている人の割合は減少してはいない。このことから、今後も猫の飼育者に対して、完全室内飼育を啓発していくことが重要であることがわかった。

また、野良猫にエサだけを与えることによる弊害についての啓発を、機会をとらえて丁寧におこなっていくことも必要である。

今後も、動物と人との共生を図っていくために、猫の完全室内飼育等の適正飼養に関する普及啓発活動をさらに推進していくこととする。

## 4 動物愛護・管理支援事業

### (1) 動物の収集及び管理に関する事業

#### ア 収集、譲渡及び致死処分状況

単位：頭

区 分		犬	猫	その他	計
① 前年度からの繰り越し		5	4	0	9
収 集	② 保健福祉（環境）事務所等からの捕獲犬及び引取犬・猫	267	410	0	677
	③ 保健福祉（環境）事務所等からの負傷動物	31	181	1	213
	④ 収集計（②+③）	298	591	1	890
譲 渡	⑤ センター譲渡	18	52	0	70
	⑥ 譲受団体譲渡	220	246	0	466
	⑦ 譲渡計（⑤+⑥）	238	298	0	536
⑧ 致死処分計		61	296	1	358
⑨ 翌年度への繰越		4	1	0	5

#### イ 致死処分方法の検討

本年度、炭酸ガスによる致死処分以外の方法を検討するため、一部の犬猫に対して致死量の麻酔薬（犬：ラボナル、猫：アイオナル Na）投与による致死処分を実施した。

- 犬 2頭（成犬2頭）
- 猫 1頭（成猫1頭）

### (2) 犬及び猫の譲渡事業

致死処分数の減少を図るとともに、地域における模範的飼養者の育成及び適正飼養の普及啓発を図るため、センターにおいて保管・管理している健康で家庭動物として適正のある犬及び猫について、譲渡を行った。

#### ア センターから個人への直接譲渡

##### (ア) 譲受希望者への犬の譲渡

犬の譲受希望者に対しては、事前講習会の受講を義務づけるとともに、譲受希望者には面談による飼養環境調査を実施し、適正飼養及び終生飼養に支障がないことを確認して譲渡を行った。

また、譲渡犬については5種感染症ワクチン等を接種するとともに、内外寄生虫駆除を行っている。

##### (a) 「これから犬を飼う人のための講習会」（事前講習会）

センターから犬の譲渡を希望される方に対し、講習及び面談を実施した。

- ・ 講習 「あなたは本当に犬が飼えますか?」、「犬を迎える準備」

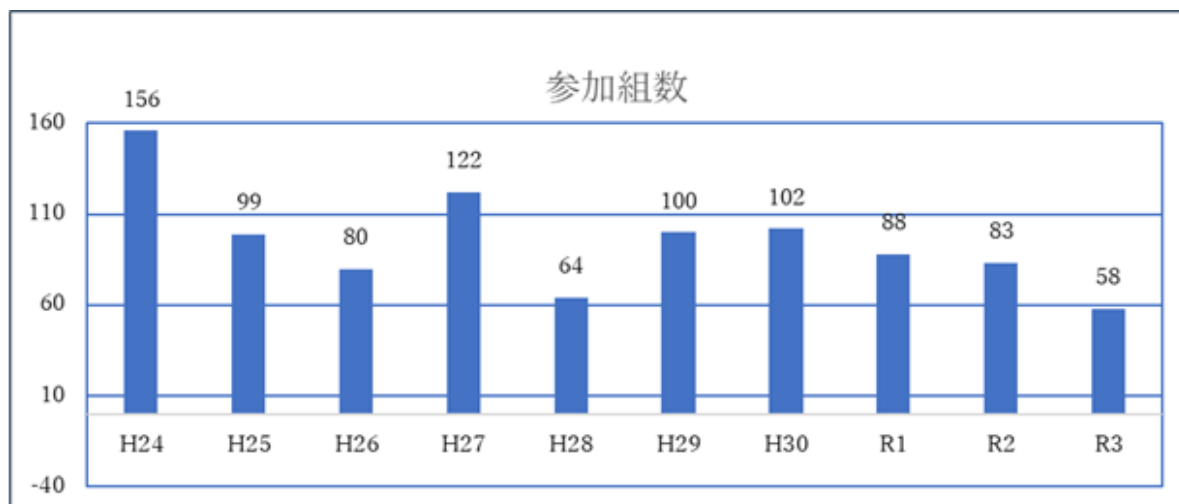


- ・ 面談 犬の飼養環境調査表（譲受希望者記入）等に基づく聴取
- ・ 開催状況

月日(曜日)	受講者数	組数	(登録) ボランティア数	見学者数
4月 7日 (水)	4名	3組	5名	3名
4月18日 (日)	9名	5組	3名	
5月12日 (水)	0名	0組	5名	
6月 2日 (水)	6名	3組	8名	
6月20日 (日)	5名	5組	3名	
7月 7日 (水)	7名	5組	7名	
7月18日 (日)	8名	4組	3名	
8月 4日 (水)	4名	2組	6名	4名
8月15日 (日)	中止			
※9月 1日 (水)	2名	1組	—	
9月19日 (日)	中止			
10月 6日 (水)	6名	5組	5名	4名
10月17日 (日)	5名	3組	5名	
11月10日 (水)	4名	3組	5名	
11月21日 (日)	10名	4組	3名	
12月 1日 (水)	7名	4組	5名	5名
12月19日 (日)	10名	4組	6名	
1月 5日 (水)	5名	4組	6名	2名
1月16日 (日)	4名	2組	3名	
2月 2日 (水)	中止			
※2月 9日 (水)	2名	1組	—	
2月20日 (日)	中止			
3月 2日 (水)	中止			
3月20日 (日)	0名			
合計	98名	58組	78名	18名

- ・ 事前講習会の定員は5組（事前申込み制）
  - ・ 開催時間 水曜日；13：30～16：00、日曜日；9：30～12：00
- ※は、長期（3カ月以上）飼養犬譲受希望者に対する個別講習

(b) 事前講習会参加組数の推移



(c) 事前講習会での面談結果及び譲渡状況

- ・事前講習会での面談組数は、受講者組数57組のうち55組であった。
- ・面談の結果、譲渡可は3組、条件付譲渡可は47組、譲渡不可5組だった。

(d) 譲渡後のフォローアップ及び飼養実態調査

- 電話によるフォローアップ（譲渡10日後）
- 家庭訪問（譲渡4～15カ月後）
- 郵送によるアンケート調査（譲渡1年後）

(イ) 譲受希望者への猫の譲渡

譲受希望者には随時の個別面談による飼養環境調査を実施し、適正飼養及び終生飼養に支障がないことを確認して譲渡を行った。

また、譲渡猫については3種感染症ワクチンを接種するとともに、内外部寄生虫駆除を行っている。

(a) 個別面談数

61組

(b) 譲渡後のフォローアップ及び飼養実態調査

- 郵送によるアンケート調査（譲渡6ヶ月後）

## (ウ) 犬及び猫の譲渡状況（市町村別譲渡頭数）

単位：頭

事務所名	市町村名	成犬	子犬	成猫	子猫	事務所名	市町村名	成犬	子犬	成猫	子猫		
筑紫	筑紫野市			1		北筑後	朝倉市	1			1		
保健福祉 環境事務所	春日市					保健福祉 環境事務所	小郡市						
	大野城市				2		うきは市	1					
	太宰府市						筑前町			1			
	那珂川市						大刀洗町						
粕屋	古賀市	1		2	5		東峰村						
保健福祉 事務所	宇美町					南筑後	柳川市						
	篠栗町		1			保健福祉 環境事務所	みやま市						
	志免町				2		八女市						
	須恵町						筑後市						
	新宮町			1			大川市				2		
	粕屋町						大木町						
	久山町				2		広川町				1		
糸島保健 福祉事務所	糸島市	1		1		京築	行橋市						
宗像・遠賀	宗像市	1		1	1	保健福祉 環境事務所	豊前市						
保健福祉 環境事務所	福津市		1		3		みやこ町						
	中間市						苅田町						
	芦屋町						吉富町						
	水巻町		1		2		築上町						
	岡垣町				2		上毛町						
	遠賀町				2	北九州市	若松区				2		
嘉穂・鞍手	飯塚市	1				動物愛護 センター	八幡東区				1		
保健福祉 環境事務所	嘉麻市			1		福岡市	東区		3	2	2		
	桂川町					動物愛護 管理センター	博多区	2	1	2			
	直方市				1		中央区	1		1	2		
	宮若市						南区				1		
	鞍手町						城南区	1		1			
	小竹町				1		早良区				1		
田川	田川市						西区				1		
保健福祉 事務所	香春町					久留米市	久留米市		1				
	添田町					動物管理 センター							
	糸田町												
	川崎町												
	大任町												
	福智町				1	令和3年度譲渡数				成犬	子犬	成猫	子猫
	赤村							10	8	14	38		

(カ)福岡県獣医師会の支援診療

県獣医師会支援事業により、4回4頭の支援診療を受けた。

イ 譲受団体への譲渡

センターの登録基準を満たした団体に対し、当該団体が希望する犬猫を譲渡した。

※登録基準：福岡県犬及びねこの団体譲渡に係る要領（平成22年5月26日施行）

(ア)登録譲受団体数

31団体（令和4年1月31日現在）

(イ)犬及び猫の譲渡状況

単位：頭

犬		猫		合計
成犬	子犬	成猫	子猫	
160	60	64	182	466

ウ 譲渡動物の不妊去勢手術

おおむね生後3カ月齢以上の譲渡動物を対象に実施した。

・不妊去勢手術の実施状況 単位：頭

	メス	オス	合計
犬	10	8	18
猫	30	45	75
合計	40	53	93

エ 譲渡動物へのマイクロチップの装着

センターにて、犬23頭、猫77頭に装着した。

登録譲受団体に譲渡した犬猫に対し、獣医師会に委託して装着した。

(3)施設の保守及び管理業務

建物・施設、財産の適正な維持管理に必要な業務を行った。

## 5 動物愛護週間事業等

動物愛護週間は「動物の愛護及び管理に関する法律」に基づき、広く国民の間に、命あるものである動物の愛護と適正飼養について関心と理解を深めるために設けられたもので、センターでは次の事業を行った。

**(1) 動物慰霊祭及び講演会**

- ・ 開催日 10月13日(水)
- ・ 場所 福岡県動物愛護センター(古賀市)
- ・ 内容 動物慰霊祭  
講演会は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、実施しないこととした。
- ・ 参加者 20名

**(2) 2021動物愛護フェスティバルふくおか**

開催日及び場所 11月7日(日) だざいふ遊園地(太宰府市)

**(3) 街頭キャンペーン**

例年粕屋保健福祉事務所と合同で実施していたが、本年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、開催しないこととした。